

三木市ゴルフツーリズム推進連携支援計画

I 必須記載事項

1 連携支援事業の目標

① 支援対象とする事業分野

本計画においては、三木市が作成した同意基本計画に定める、以下の地域の特性を活用した事業分野を対象とする。

- ・三木市の三木城跡、ゴルフ場等の観光資源を活用した観光・スポーツ分野

三木市は、ゴルフ場25か所が所在する西日本一ゴルフ場の多いまちであり、ゴルフ場年間来場者数も三木市の総入込客数約504万人の5分の1にあたる約100万人を越えている（平成30年度 兵庫県観光客動態調査報告書）。特にゴルフツアーの開催実績が顕著であり、令和元年度には男子ツアーが1大会、女子ツアーが3大会開催されており、これは全国の市町村の中で最も多い。

また、三木市は京阪神から車で約1時間という好立地に加えて、市内には山陽自動車道、中国縦貫自動車道が横断し、三木東IC・三木小野IC・吉川ICの3つのインターチェンジを有しているため、ゴルフ観光が容易な立地にある。

しかし、ゴルフのまちとしての認知度が低く、「ゴルフといえば三木市」というブランド化が進んでいない。さらに、近年、70歳以上のゴルフ人口の増加（平成30年－29年約8,500人増加）と反比例するように18歳以上70歳未満のゴルフ人口は減少傾向（平成30年－29年約26,200人減少）（平成30年度三木市調べ）にあり、三木市のゴルフ産業においても幅広い世代のゴルフ人口の維持確保が重大な課題となっている。

ゴルフ人口の維持確保という課題に対して、ゴルフ場単体で取り組むには限界があり、地域全体の観光振興や集客の枠組みを考える必要がある。このため、ゴルフ場利用の需要喚起に取り組むゴルフ場運営事業者をはじめ、ゴルフを核としたツーリズムに参画する事業者（宿泊施設、観光施設、飲食店等）を支援するとともに、インバウンドゴルフツーリズムの推進により、市内産業である金物文化、酒米山田錦などの歴史や文化に触れる体験と連動させ、外貨の獲得をめざす地域経済牽引事業を支援する。

② 地域における産学官金の地域経済牽引支援機関の連携による切れ目のない支援体制の構築

三木市ゴルフ協会を中心に市内25か所のゴルフ場による合同スタンプラリーやドリームコンペの開催を行うなど、ゴルフ人口の維持確保を図るため、各ゴルフ場を支援する

取組を実施している。

三木市においては、西日本一ゴルフ場が多い三木市の特徴を活かし全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会誘致事業などを展開し、「ゴルフのまち三木」を広くPRするとともに、ゴルフトーナメントやゴルフ教室等の開催、インバウンド戦略の推進により、ゴルフ産業の振興を図っている。特に、インバウンド戦略の推進にあたっては、北播磨広域観光協議会とも連携し、広域での連携体制を構築し、海外旅行事業者との商談会や視察等に対応している。

しかしながら、以下のような課題が生じている。

- ・インバウンドゴルフツーリズムに個々のゴルフ場がどのように取り組めば良いか、情報や知見が不足している。
- ・三木市の地域資源と魅力を世界に発信する必要があるが、海外向け体験コンテンツやパンフレットの作成に加え、外国語等によりPRできる人材が不足している。
- ・インバウンドゴルフツーリズムに参画する事業者（ゴルフ場、宿泊施設、観光施設、飲食店等）の連携がうまく図れていない。
- ・多くのゴルフ場が、国内のゴルフ人口の減少に伴う経営悪化や、キャディや整備スタッフ等の人材不足に直面している。そのため、ロボットやAIの活用等による生産性向上の取組が不可欠であるが、初期コストが高い、効果が分からない、専門人材がいないといった理由から導入が進んでいない。
- ・市、商工会議所、銀行などさまざまな主体が、この地域で新事業創出につなげるべく取組を進めているが、上記のような異業種連携や販路開拓といった事業者からの多様な相談に対して、各機関が情報共有し補完し合う体制が整っておらず、有機的に連携できていない。

これらの課題に対応するため、三木市、三木商工会議所、三木市ゴルフ協会、北播磨広域観光協議会、学校法人関西学院、株式会社みなと銀行といった「産・学・官・金」が連携し地域経済牽引事業を切れ目なく支援する体制を構築し、地域経済牽引事業を着実に支援する。

③ 地域の各地域経済牽引支援機関の役割と責任の明確化

連携支援事業を共同で実施する各地域経済牽引支援機関の役割と責任を明確化することによって、効果的に連携支援事業を実施する。

④ 地域内で不足する支援機能の地域外からの補完

- ・地域内で不足する支援機能としては、インバウンドゴルフツーリズムに関する専門的知見や、海外への販路開拓に係る事業者とのマッチングコーディネーター等であるが、これらについては以下のような補完を行う。

i 先進的なインバウンドゴルフツーリズム事業者であるGTO東京のノウハウを活用し、インバウンドゴルフツーリズムに参画する事業者（ゴルフ場、宿泊施設、体験観光に関わる古民家レストラン、金物製造事業者、酒蔵等）に、インバウンド受入れに向けた研修会やセミナーを開催し、オリジナル資源（人材、コンテンツ）の確立を支援する。

ii JGTA（日本ゴルフツーリズム推進協議会）と連携し海外ゴルフツーリズム専門事業者に対し、直接面談を行える商談会の開催や商談会前後に視察ツアー等の誘致、PRを行う。

・インバウンドの長期滞在を促すには、三木市だけでなく、より広域的なツーリズムを形成する必要がある。そのため、訪日外国人のニーズに合わせた広域観光プランの作成支援や、広域観光に対応したパンフレットの作成支援等については、近隣自治体の協力を得ながら取り組む。

・海外からの誘客を拡大するためには、三木市が取り組むゴルフなどのスポーツを核とする取組を外部に広くPRすることが不可欠であるが、効果的な情報発信・宣伝手段・ノウハウが不足している。このため、読売新聞など広域的に発信することができるメディアを活用する。

⑤ 想定する支援件数

産学官金の切れ目のない支援体制を構築することにより、地域経済牽引事業を令和2年度から令和4年度で計6件支援することを目標とする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
目標件数	1件	2件	3件	6件

2 連携支援事業の内容及び実施時期

○連携支援事業の内容

本連携支援事業では、地域経済牽引事業を円滑に実施できるよう、産学官金からなる連携支援体制を構築するとともに、コンテンツの開発・強化支援、人材育成、経営支援の3つを事業の柱として実施する。実施にあたっては、三木市縁結び課にワンストップ相談窓口を設置し、それぞれの情報を共有しながら、他の連携支援機関との連絡調整を図るなど、相互に連携しながら実施する。

<コンテンツの開発・強化支援>

実施機関：三木市、三木市ゴルフ協会、北播磨広域観光協議会、

学校法人関西学院 関西学院大学

- ・ 点在する観光地等の地域資源をつなぐプラットフォームを構築し、地域資源間での訪日外国人のニーズに合わせた旅行プラン作成等のマッチング支援を行う。
- ・ 地域資源であるモノづくり文化に触れる体験観光事業を検討している事業者からの相談対応、ハンズオン支援を行う。
- ・ 訪日外国人向け体験コンテンツの企画立案や外国語に対応したパンフレット等の作成支援を行う。

<人材育成>

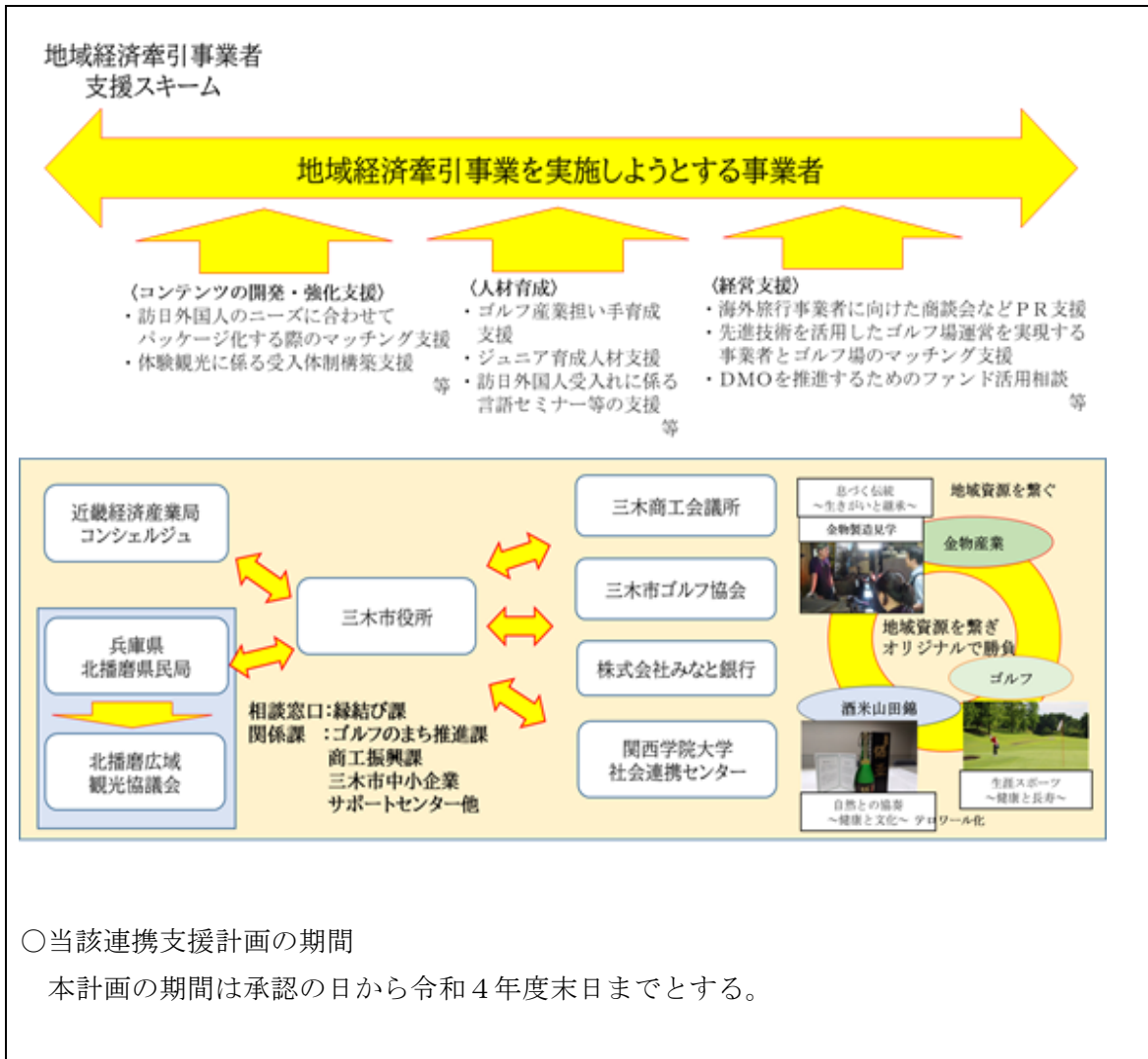
実施機関：三木市、三木市ゴルフ協会、北播磨広域観光協議会、
学校法人関西学院 関西学院大学

- ・ 訪日外国人を受け入れるための通訳対応や海外旅行事業者とのやり取りを行うおもてなし人材の育成につながる研修会やセミナーを開催する。
- ・ インバウンドゴルフツーリズムにおけるビジネス機会創出を図るため、経営者やプランナーを対象にセミナーを開催する。
- ・ 将来プロゴルファーを目指すジュニアをコーチする人材や、競技が運営できる人材の発掘・育成を支援する。
- ・ ゴルフ場の維持管理に必要なとなる運営や整備人材等の育成を支援する。

<経営支援>

実施機関：三木市、三木商工会議所、三木市ゴルフ協会、
北播磨広域観光協議会、株式会社みなと銀行

- ・ 海外旅行事業者とのビジネスに必要な資格取得に向けた相談や商談会への参加などのスタートアップに係る支援を行う。
- ・ 海外旅行事業者に向けたパンフレット等によるPRの支援を行う。
- ・ ゴルフ場のキャディや整備スタッフ等の人材不足を補うため、ロボットやAIを活用したゴルフ場運営を実現する事業者とゴルフ場のマッチング支援を行う。
- ・ 広域連携による取組を推進するためのDMOファンドの活用相談を行う。
- ・ 起業や設備投資等に必要な資金への融資などの相談に対応する。



3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の ①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	① 三木市 ② 三木市上の丸町10番30号 ③ 市長 仲田 一彦	<ul style="list-style-type: none"> ・本連携支援事業の代表団体として計画を推進するとともに連携支援協議会を主催 ・本連携支援事業におけるワンストップ窓口を設け事業者からの相談に対応 ・インバウンドゴルフツーリズムにおけるビジネス機会の創出を支援 ・公的助成等による起業支援

2	① 三木商工会議所 ② 三木市本町2丁目1-18 ③ 会頭 稲田 三郎	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からの経営相談、販路開拓などの経営支援 ・事業者の課題解決を図るための異業種とのマッチング支援
3	① 三木市ゴルフ協会 ② 三木市上の丸町10番30号 ③ 会長 稲田 三郎	<ul style="list-style-type: none"> ・協会に加盟する市内25か所のゴルフ場への情報提供 ・ゴルフ場の経営や人材面での課題抽出
4	① 北播磨広域観光協議会 ② 加東市社字西柿1075-2 ③ 会長 時政 良光	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドゴルフツーリズム推進のための情報提供及びプロモーションに向けた商談会参加への支援 ・地域をつなぐ広域ネットワーク構築時におけるハンズオン支援 ・地域の特徴を生かした体験コンテンツ作りに係る支援及び海外旅行事業者視察対応に向けた支援
5	① 学校法人関西学院 関西学院大学 ② 西宮市上ヶ原一番町1-155 ③ 学長 村田 治	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしに係る言語対応支援 ・訪日外国人向け体験コンテンツ企画立案支援
6	① 株式会社みなと銀行 ② 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号 ③ 取締役頭取 服部 博明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からのビジネス相談、融資支援、マッチング支援 ・DMOファンドの活用支援

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

連携支援協議会を設置し、規約を設け、年2回程度の定例連絡会議の開催、連携支援事業の検討、実施、進捗状況の共有を行う。

また、この会議の中で、課題・隘路を抽出し、ビジネス分野の推進に必要な連携支援事業の体制強化策を検討する。

地域経済牽引事業者からの相談は、ワンストップ窓口として、三木市縁結び課が対応する。相談を受けた後、迅速に、案件内容毎に各地域経済牽引支援機関の担当者と情報共有し、課題解決担当者を決めた上で伴走支援を行う。その際、必要に応じて他の地域経済牽引支援機関に繋ぐなど、シームレスな課題解決に努めることとする。具体的には、各地域経済牽引支援機関の強みを活かした案件毎の課題解決チームを組成し、随時面談、メール等の手段で対応する。

なお、近畿経済産業局を通じて地域未来牽引企業から相談等があった場合も、適切に課題を把握し対応を行う。

Ⅱ 任意記載事項

1 補助金等交付財産の活用に関する事項

--

(備考)

- 1 記名押印については、氏名を自署とする場合、押印を省略することができる。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。